

# 留学生の介護教育環境理解

## ハ

カリキュラムや留学生のサポート体制などについて教員から説明を受け、留学生の充実した教育環境に理解を深めていた。

在日インドネシア大使館のユスリ・ワルディア教育文化担当官がこのほど、同国からの留学生4人が在籍する八戸市の八戸学院大学を視察した。ユスリ氏は、同大学短期大学部介護福祉学科の増やそつと、日本国内の

八戸学院大短期大学部の介護実習室を視察するユスリ氏(左)



## インドネシア大使館担当官 八学大短大部を視察

養成施設を訪問している。同学科には本年度、仙台育英学園(宮城県)の外国人介護士育成プログラムを修了した同国人留学生4人が入学し、日本の介護福祉士国家試験合格を目指して勉学に励んでいる。

ユスリ氏や同学園の担当者らと懇談した同学科の小川あゆみ学科長補佐・教授は、介護の専門教育に加えて八戸地域の文化理解や日本語の教育にも力を入れていることを説明。インドネシア人留学生について「一生懸命頑張っている」とたたえた。

ユスリ氏は取材に「勉強だけでなく観光や買い物などのサポートがあり、留学生は安心して勉強ができる」と感じた。インドネシアの若者が日本で介護を学び、日本の高齢者を支えることで、両国にとって良い状況となれば」と述べた。

(千葉真由美)